

# 日本臨床検査専門医会

## 平成 23 年度臨時常任幹事会議事録

平成 23 年 4 月 22 日

## 日本臨床検査専門医会 平成 23 年度臨時常任幹事会議事録

開催日時：平成 23 年 4 月 22 日（金）10 時～11 時 40 分

開催場所：日本臨床検査専門医会事務局

出席者：渡辺 清明会長、佐守 友博副会長、渡邊 卓副会長、  
村田 満、山田 俊幸、矢富 裕、東條 尚子各常任幹事、  
高木 康監事

欠席者：土屋 達行常任幹事、水口 國雄監事

事務局：藤本 梨恵 (敬称略)

定刻、渡辺 清明会長は議長席につき、挨拶の後開会を宣し、直ちに議案の審議に入った。

### 審議事項

#### 第一号議案 議事録署名人選任について

渡辺 清明議長は本会の議事録署名人の選任を議場に諮ったところ満場一致をもって次のものを選任した。

議事録署名人 村田 満、山田 俊幸各常任幹事

#### 第二号議案 第 21 回春季大会の開催について

議長は、東日本大震災に伴い、6月10日、11日に予定している第21回春季大会開催の可否について、諏訪部章大会長の意見を提示し議場に諮った。諏訪部章大会長は、震災直後は開催不可能との認識でいたが、その後の復旧状況、極端な自粛ムードによる東北経済の停滞などを考慮し、本大会をチャリティー大会として開催することで被災者支援、経済の立て直しに貢献できるとし、開催の意向であることが報告された。余震が心配、交通手段に不安があるとの意見はあったが、開催の可否を議場に諮ったところ、開催することで全員異議なく承認可決した。なお、この決定を会員にできるだけ早く周知するため、諏訪部章大会長の開催趣旨をそえて、春季大会開催決定を全会員宛てにメールで発信することが承認された。

矢富常任幹事より、春季大会は魅力的なテーマが組まれているが、交通事情等でプログラムの変更が予想されることから、縮小されたテーマを次号のLabCPで補完してはどうかとの意見が出され、全員一致で承認された。

春季大会と連動して予定されている、第一回生涯教育講演会も開催の方針が承認された。

### 第三号議案 専門医試験問題（実技試験）に関する意見書について

議長は、専門医試験問題（実技試験）に関する意見書について、山田教育研修委員長に説明させた。平成22年度の実技試験問題について受験生の声を聞いた結果、①筆記試験とオーバーラップする内容がある、②時間が不足、③末梢血スメア・免疫電気泳動で難易度が高い問題がある、④グラム染色法が経験した方法と試験の方法とで違っていた等の意見があった。これらの意見をふまえ、専門医試験の質を担保するため、専門医による試験問題の検証が望ましいと考える。そこで、日本臨床検査専門医会から日本臨床検査医学会に、専門医試験問題のレビューを実施するよう提案することについて、議場に諮った。審議の結果、全員一致で承認され、渡辺会長名で、次回の日本臨床検査専門医審議会（平成23年6月18日開催予定）に提案書を提出することが決定された。専門医試験終了後、日本臨床検査医学会から日本臨床検査専門医会に試験問題レビューの要請があった場合は、山田俊幸教育研修委員長が窓口となり対応することです承された。

### 第四号議案 第39回日本臨床検査専門医会総会における講演会について

議長は、東條庶務・会計幹事に、第39回日本臨床検査専門医会総会における講演会の講演内容について提案させた。高木監事から、橋本信也先生は前日本医師会常任理事で、専門医制度に大変お詳しく、2005年11月にも御講演いただいたことがあると説明があった。以上より、議場に諮ったところ、満場一致をもって承認可決した。

日時：平成23年11月17日（木）午後2時10分から3時

場所：岡山コンベンションセンター 2階 レセプションホール

講演内容：専門医制度について（仮題）

座長：渡邊 卓教授（杏林大学病理系専攻臨床検査医学分野）

演者：橋本 信也先生（医療教育情報センター理事長）

### 第五号議案 臨床検査専門医受験資格取得方法に関する日本臨床検査専門医会の考え

議長は、病院等の検査部の責任者（検査部長）で、非専門医のまま管理業務を行っている医師が、臨床検査専門医の資格を取得できる現実的な方策の整備について、渡邊 卓副会長に説明させた。専門医受験資格に関する日本専門医制評価・認定機構の要求事項をよく検討し、あらためて提案することです承された。

## 報告事項

### 1. 各種委員会報告

#### ① 情報・出版委員会

矢富情報・出版委員長より、以下の報告があった。

次回 LabCP は、6 月開催予定の第 21 回春季大会のプログラムが大変魅力的内容であるが縮小される可能性があることから、発表されない内容を補完する形を計画したい。諏訪部大会長と連絡をとり、具体化していく予定であり、発刊は例年の 6 月から少し遅れる見通しである。

LabCP、JACLaP News、WIRE は順調に発刊している。

専門医会は、日本衛生検査所協会誌「ラボ」に、平成 23 年 4 月からは新シリーズ「検査を知る」の記事を掲載しており、「ラボ」のレベルアップに貢献している。しかし、同協会誌の掲載記事には科学的エビデンスに乏しい記事が散見される。「ラボ」は、発行部数も多く読者の反響も大きい。記事を掲載している以上、専門医会のスタンスを問われることになりかねない。

佐守副会長より、日本衛生検査所協会の広報委員会に記事の検閲をすべきことを伝えたが、再度、日本衛生検査所協会の理事会に伝えていただくこととなった。

#### ② 教育研修委員会

山田委員長より、平成 23 年度の教育セミナーは予定通りの開催とし、参加予定人数、内容について報告があった。

## 記

講義形式セミナー 30 名参加予定

開催日時：平成 23 年 4 月 23 日（土）

開催場所：順天堂大学

実習形式セミナー 28 名参加予定

開催日時：平成 23 年 5 月 8 日（日）

開催場所：自治医科大学

生涯教育講演会は下記を予定しているが、本日の春季大会開催決定を受け、演者に講演内容を確認の後、全会員にお知らせする予定である。

## 記

## 第一回生涯教育講演会

開催日時：平成 23 年 6 月 10 日（金） 15 時から 17 時

開催場所：アイーナ（いわて県民情報交流センター）

講義内容：

### 1 検査室のリーダーシップ入門

演者：昭和大学横浜北部病院 検査部長 木村 聡先生

### 2 日常の医療安全と医療倫理

演者：岩手医科大学附属病院 医療安全推進室長 高橋 智先生

会費：2,000 円

### ③ 資格審査・会則改定委員会

（土屋 達行委員長不在のため東條庶務会計幹事が代理）特になし。

### ④ 渉外委員会

佐守 友博委員長より、平成 23 年 7 月 22 日に予定している第 28 回臨床検査振興セミナーについて報告があった。釜山大学孫先生を招聘して特別講演を企画しているが、震災後、来日していただけるかどうかは未確認である。被災した賛助会員もあり、セミナーの内容に震災に関することを加えるかどうか検討したい旨の報告があった。

高木監事より、振興セミナーは賛助会員に情報等を還元することが目的のセミナーで、賛助会員にとって魅力的な内容とすべきであり、震災にこだわる必要はないのではないかとの意見があった。

### ⑤ 保険点数委員会

渡辺 清明委員長より、内保連に提出した平成 24 年度診療報酬改定提案書の報告があった。

## 記

1. 生理機能検査管理加算（未収載項目）
2. 血液採取（既収載項目）
3. 末梢血液像（既収載項目）
4. 尿沈渣顕微鏡検査およびフローサイトメトリー法による尿中有形成分測定（既収載項目）
5. 染色体検査（既収載項目）
6. 悪性腫瘍遺伝子検査（既収載項目）

7. 時間外緊急院内管理加算（既記載項目）
8. 血液細胞核酸増幅同定検査（既記載項目）
9. 免疫関連遺伝子再構成（既記載項目）
10. UDP グルクロン酸転移酵素遺伝子多型（既記載項目）
11. WT 1 mRNA 核酸増幅検査（既記載項目）
12. サイトケラチン（CK）19mRNA（既記載項目）

⑥ 専門医数増加方策検討 WG

（木村 聡委員長不在のため東條庶務会計幹事が代理）特になし。

⑦ 専門医広告啓発促進 WG

（村田 WG 委員長）特になし

2. 第22回春季大会について

東條庶務・会計幹事から、第22回日本臨床検査専門医会春季大会の日程ならびに開催場所について報告があった。

記

開催日時：平成24年3月23日（金）、24日（土）

開催場所：山口大学医学部霧仁会館、宇部国際ホテル

大会長：日野田 裕治教授

（山口大学大学院医学系研究科 臨床検査・腫瘍学分野）

高木監事から、3月末は大学などは年度末で行事も多く、参加できない会員が多いのではないかと意見があった。同様の意見があったため、東條庶務・会計幹事から大会長の日野田先生に日程調整が可能かどうかを問い合わせることとなった。

3. 震災に伴う事務局の被災状況について

事務局の藤本より、震災にともなう事務局の被災状況について説明があった。室内の壁数か所に亀裂ができた。被災直後、安全点検が終了するまでは立ち入らない方が望ましいと管理会社から通達があったので、事務局業務に制限が生じた。その後、管理会社より3月24日付で、建物に構造上の問題はないとの通知が出たので、通常の業務体制に戻した。壁の亀裂部位は5月中をめどに、管理会社により修復が行われる予定である。ビルは新耐震基準（1981年）以前の施工である。また、エレベータの地震時管制運転装置は装備されていない。通常、事務局は1名体制で業務を行

っているため、今後、大きな余震が発生した場合に不安がある。

渡辺会長より、今後の体制については、東條庶務・会計幹事とも慎重に検討し報告するよう指示があった。

議事録署名人

平成 23 年 5 月 30 日

村田 満 印

平成 23 年 6 月 2 日

山田 俊幸 印